

第6回 ニッケピュアハート エッセー大賞

<中学の部 優秀賞>

「母からの贈りもの」

新井真帆

今年になってから、予防接種を続けてうける事になった。そして、その都度必要だったのが「母子手帳」いつもは、気にも留めずにいたけれど何だか興味が湧いてきて、初めてじっくりページを開いてみました。

まるで、タイムワープしたような気分でした。そこには、母の若かりし頃の姿があったからです。母が、妊娠した事で、とても神経質になっていた事。体調管理に万全を期してくれていた事。その中でも、太目の母が、体重制限をしていた事には驚きました。病院で、赤ちゃんに負担がかかると聞いていたようで、臨月を迎えても体重は1kgも増えていませんでした。どんどん大きくなる私を抱えながら、必死で食生活をコントロールしてくれていたんだなぁと思うと、嬉しくなりました。他にも、私が産まれてくる前から女の子だと思っていた事や、どれだけ会える事を楽しみにしていたかなどが、母の言葉で綴ってありました。

私の既往歴欄には、病名の隣に泣き顔マークが書いてあり、病気の私より、母の方が、苦しんでいたような気がします。成長の様子も事細かに記してあり、一つ一つの出来事に感動しながら大切に育ててくれたのが判りました。

それなのに最近の私は、母に対して冷たい態度をとってばかりです。イライラしたら理由もなく母にあたりたり、口答えをしたりして…。何をしても許してもらえなくて、甘えがあったから…。でも、産まれる前から母の大きな愛に包まれていたんだって知った今、嬉しい気持ちとありがとうの感謝をこめて、その大きな愛に応えていきたいと思っています。感謝の気持ちは恥ずかし過ぎて口に出しては言えないけれど、心の中で、ありがとうって叫んでみよう。「母子手帳」この小さな手帳の中には、計り知れない程の大きな愛が詰まっていました。私もいつか、愛であふれた手帳を作れるお母さんになりたいです。